



「フックン船長からの挑戦状」に挑む！ ～学びに向かう力、急上昇～

分(ぶ) 厘(りん) 毛(もう)
..... 阿摩羅(あまら)
..... 涅槃寂靜(ねはんじゃくじょう)
暗唱「1より小さい数の単位」

「フックン船長からの挑戦状」は、暗唱や算数のパズルの問題です。

毎月、1～3年生版、4～6年生版を校内研修部から出題しています。9月は算数のパズルの問題。「かんたんバージョン」「ちょいむずバージョン」、さらに両方できた場合は「チャレンジ問題」に挑戦できます。

暗唱では、「1より小さい数の単位」「寿限無」・・・。

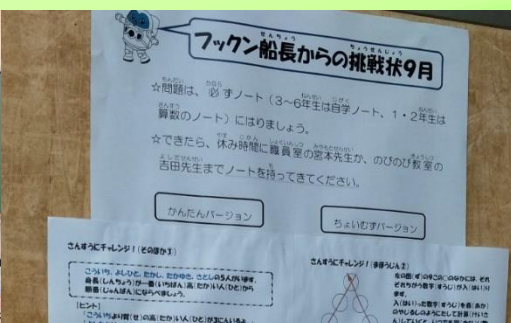
挑戦状には、「できたら、休み時間に研修部の宮本先生、吉田先生のところにノートを持って行ってチェックを受ける」ように指示が出ています。

1年生もすごい。いや、特に1年生がすごい。

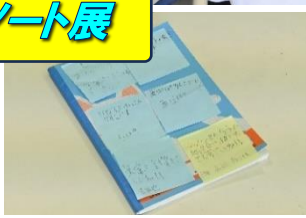
1回目、「う～ん、おいしいなあ」。2回目も来ただけ「あ～、もうちょっと」・・・しかし、あきらめずに何度も挑戦してきます。何と8回も挑戦して合格を勝ち取った子もいます。

特に、WBGT（熱中症指数）で「危険」が示され、外遊びができない日は、二人の先生たちの机の前に行列ができることもあります。そして、まるで遊んでいる時と同じように笑顔で挑んでいます。

「挑戦状」への取組を通して、学習意欲の向上につながることを期待しています。



自学ノート展



「フックン船長からの挑戦状」には、「問題は、必ずノート（3～6年生は自学ノート）にはりましょう」という指示もあります。6年生の一人は、この指示によって「初めてノートを使って、家庭で自主学習をするようになった。」そうです。

先週は、3～6年生の「自学ノート展」を開催し、参考になるノートを多目的室に展示しました。そして、学年ごとに見る時間を取り、特にすごいと思ったこと、参考になったことを付箋に書き、その人のノートに貼っていました。フリー参観日だった最終日には、保護者の皆様にもご覧いただけるようにしました。

児童の学力向上に向けた取組については、また次号でご紹介いたします。